

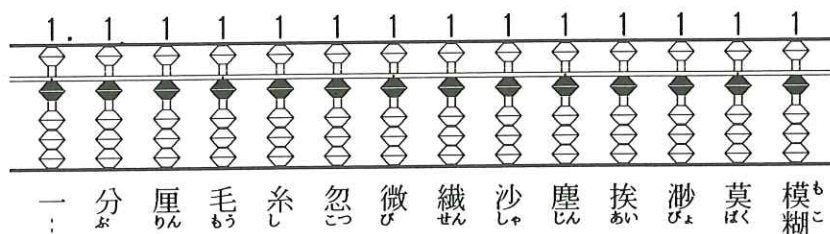
学習内容のお知らせ

保護者各位

平素はさんさん教育にご理解とご支援をいただき有り難うございます。

つきましては、お子様はこれからさんさんの手びき13の学習を始めますので、基本的な内容をお知らせします。

◆ 小数の位

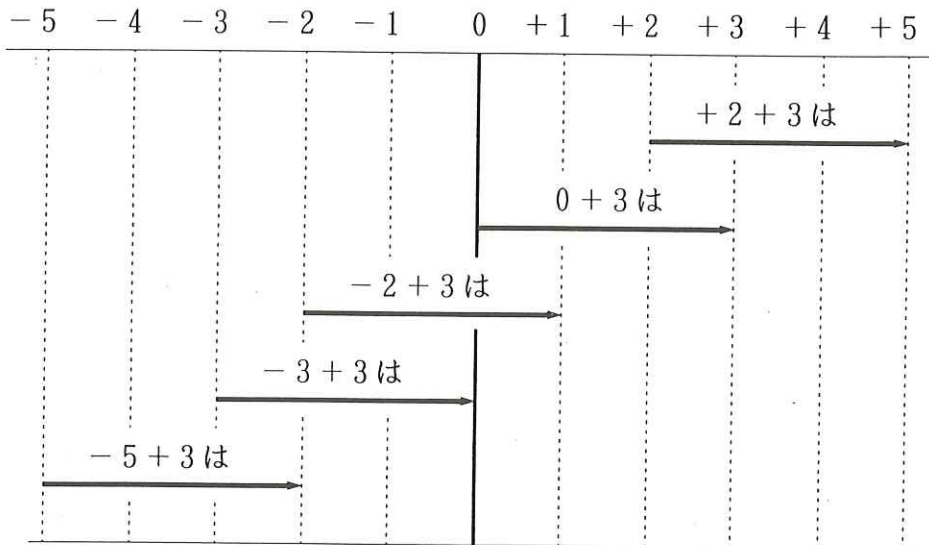


十分の一	0.	1											
百分の一	0.	0	1										
千分の一	0.	0	0	1									
一万分の一	0.	0	0	0	1								
一億分の一	0.	0	0	0	0	0	0	0	1				
十億分の一	0.	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
一兆分の一	0.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		$\frac{1}{10}$		$\frac{1}{1万}$			$\frac{1}{1億}$			$\frac{1}{1兆}$			

江戸時代には、上の表のように小数の位が使われていました。顕微鏡が無い時代ですから、日本の文化は世界的にも優れていました。

力は五分五分、腹八分、九分九厘成功、十分いただきました、という言葉はこの小数から生まれた言葉です。現在、コンピューター関係で使われている、1ナノ（10億分の1）は1塵で、1ピコ（1兆分の1）は1莫といいます。今も生きる文化は大切にしたいものです。

◆ 負の数の計算 — 矢線の使い方 —



もとになる数に矢線の起点をおき、たす数だけ矢線の先の目盛りを読めば、たし算の結果がわかります。例えば、 $-2 + 3$ は、数直線の -2 のところから3つ右の数直線の数を読むと $+1$ です。それが答えの $+1$ です。

ひき算は矢線を左向きにします。 $+2 - 3 = -1$ のような問題や、 $-2 - 3 = -5$ のような問題のときに大変良く分かる方法です。この方法ですと、小学校4年生でも、負の数の簡単な計算は良く分かります。中学生も「こうだったのか」となっとくしています。

〔推薦〕 坂元信吾

正負の数が、子どもにも理解できる範囲で、思考力を助長する概念として導入されている。これによって、数の概念が拡張され、計算の意味が、新しい観点から考えられてくる。 (宮崎大学名誉教授)

さんさん教育研究所

指定教場